

報道関係者各位

2016年 2月 12日
株式会社光潤社
代表取締役社長 重光 宏之

株式会社ロッテホールディングスに対する臨時株主総会招集請求の決定に関するお知らせ

ロッテグループにおける一連の経営上の問題において、お客様、お取引先、従業員とご家族及びロッテグループを支えて下さっている皆様にご心配をおかけしております事を深くお詫び申し上げます。

本日、株式会社ロッテホールディングス（以下、ロッテHD社）の最大株主である株式会社光潤社（以下、光潤社）は、経営上の問題に幕引きを図り、日本のロッテグループを創業以来の「ものづくり」の会社に戻すべく、ロッテHD社に対し、下記のとおり、臨時株主総会の招集請求を行うことを決定し、その中で経営陣の刷新を求めていくことといたしましたのでお知らせいたします。

また、かかる経営陣の刷新が実現した後の新たなロッテHD社の経営方針の概要につきましても、併せてお知らせいたします。

記

1. 臨時株主総会の招集請求の決定に至る経緯

ロッテグループは、創業者である重光武雄の下、菓子メーカーからスタートし、日韓両国を中心にお客様やお取引先の皆様にご愛顧いただき、発展してまいりました。

ロッテHD社の取締役副会長であった重光宏之も、30年近くにわたりお取引先、従業員の皆様とともに、お子様を始め多くのご家庭に新しいお菓子や冷菓を届けることを使命にし、ロッテグループの発展に尽くしてまいりました。

そのような中、突如として重光宏之に対する一連のロッテグループ26社の取締役解任が行われました。しかし、この解任に至る経緯を調査した結果、ロッテHD社代表取締役社長佃孝之が当時ロッテHD社代表取締役会長であった重光武雄に対し、重光宏之に関する虚偽又は著しく誇張された説明を行ったことが明らかになっております。

さらに、現経営陣は、創業者である重光武雄に対し本人の意思に反して、ロッテHD社の代表取締役の地位を解き、名誉会長に棚上げするという、これまで培ってきた相互の信頼を裏切り、ロッテグループのこれまでの発展の礎を蔑ろにする行為をとっております。

これらの行為は、ロッテHD社の最大株主である光潤社として承服しかねるものであります。よって、光潤社として、事態の早期正常化と企業価値の持続的な向上を図るための手段を講じることといたしました。

今回決定した臨時株主総会の招集請求は、日韓両国で愛されてきたロッテグループのあるべき姿を実現するために必要なプロセスです。光潤社及び重光宏之は、創業者である重

光武雄とともにこれらを通じて、ロッテグループの企業価値の持続的向上のため、全力で取り組んでまいります。

2. 株主総会の目的たる事項（予定）

第一号議案：重光宏之及び磯部哲の取締役選任

第二号議案：重光武雄を除くロッテHD社現取締役7名の解任

第三号議案：本村健弁護士の監査役選任

第四号議案：監査役今村修の解任

3. 経営刷新を実現した後の経営方針の概要

現在の経営権問題は一部の現経営陣を中心に引き起こされたものではありませんが、こうした問題を惹起する素地がロッテHD社の構造的な問題としてあったことは否めません。そうした反省に立ち、二度とこのたびのような混乱がもたらされることのないよう、また、ロッテHD社がグローバル企業として持続的な成長を続けられるよう、以下の3点を中心とする基本的な経営方針を打ち出します。

(1) グループ戦略の見直し

日本ロッテは菓子・冷菓・食品事業を中核として、グローバルに事業を展開いたします。韓国ロッテは、流通を中心とするサービス業、石油化学を中心とする製造業など、コングロマリット体制を維持いたします。

他方で、明確なシナジーの見込めない事業への投資など、企業価値を毀損するような、秩序のない拡大や徒な規模の追求はいたしません。特に、長年にわたり、赤字を生み続けている中国事業などの不採算事業について、ゼロベースでの見直しを行います。

(2) 現場を重視した経営体制の確立

ロッテHD社の現経営陣には、商品の開発・製造の現場に精通している人材がおりません。これでは食品メーカーとして、お客様に安心いただける安全な商品をお届けするという責任をどこまで果たせるのか疑問です。

また、開発・製造を熟知する経営陣がいないため、お客様の声を反映した革新的な商品作りが難しい状況にあると言わざるを得ません。

こうした状況に鑑み、現場に精通した人材を経営陣に加え、企業理念に立ち返って、お客様に安心して、そして楽しんでいただける商品を作り続ける体制を確立いたします。その一貫として、ロッテの開発・製造・販売に情熱を傾け、現場を知る若く優秀な人材から取締役への抜擢を行います。

また、新たな革新的商品を生み出し、持続的に日本ロッテが成長を続けていくためにも、失敗を恐れず挑戦をし続けるロッテ本来の企業風土を回復いたします。そのために、公正な人事評価を実現し、ロッテで働く全ての皆様が、持てる能力を十分に発揮できる、働きやすい環境作りも推進いたします。

(3) ロッテHD社株式の上場

ロッテグループがグローバル企業として成長を続けていくことを目的として、ロッテHD社の株式の上場を目指します。それにより、資金調達手段の多様化と、経営の透明性向上を図ります。

現経営陣は株式会社ロッテといった事業子会社の上場を検討していることが一部で報道されておりますが、グループ内の事業子会社は兄弟会社等との取引関係が多く、その取引関係を通じて、上場した事業子会社の経営実態が歪められるおそれがあると考えられます。

加えて、事業子会社の株主は、グループ全体の経営判断を行うロッテHD社の重要な意思決定に影響を及ぼすことができず、事業子会社の経営が歪められた場合でも、経営実態を是正する機会もありません。

このように、経営の透明性向上の観点からも、投資家保護の観点からも、事業子会社の上場よりもより望ましいロッテHD社の早期の上場を目指します。

ロッテグループ従業員を始めとする関係各位におかれましては、経営権問題を早期に収拾し、ロッテの新たな歴史を築くためにご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

以上